

- 鷺尾雨一 小説家。明治二十五年四月二十七日新潟湯懸生れ、昭和二十六年二月九日歿（六六—九五）。本名浩。大正四年早稻田大學文學部英文科卒。神田豐總等と春秋社を設ぐ。のち獨立して冬夏社を經營し、失敗して歸郷。十四年再上京して創作の筆を執り、「吉野朝太子記」で昭和十年下半期の直木賞受賞。
- 譯著書、ダンヌンチオ作「フランチエスカ」(本名、譯、大正二年六月十一日新陽堂)、ハゲエロツク・エリス著「性の心理」全十卷(同、譯、第一卷「人間の性的選擇・上」大正十年二月二十日、第二卷「人間の性的選擇・下」四月二十日、第三卷「色情表徴」九月十五日、第四卷「飛騨機能」九月十日、第五卷「妊娠の心的状態」七月七日、第六卷「性の教育(性教育と性愛の價值)」六月十五日、第七卷「純潔の職能と性的抑制」六月十日、第八卷「貴姓と花柳病」八月二十一日、第九卷「性的道徳と結婚」六月二十日、第十卷「性愛の技巧と生殖の科學」八月二十日冬夏社)、ウヰリアム・シエー・ロビンソン著「性慾生活」(同、譯、大正十年八月二十五日冬夏社)、ジヨージ・サンタヤナ著「美學論」(同、譯、大正十年九月二十日冬夏社)、ガロツホ著「戀愛發達史の新研究」(同、譯、大正十年十一月十五日冬夏社「性慾研究名著文庫」)、ハゲエロツク・エリス著「男と女」(同、譯、大正十一年二月十日冬夏社)、吉江狐雅解説「マーネリク」評傳(同、編、大正十一年八月二十五日冬夏社)、高谷雲海著「通俗戀愛全譜」(同、編、大正十一年八月五日冬夏社)、^性「眞理と性愛の技巧」(同、特製版・昭和二年五月五日岩文社書店)、^性「新亞細亞行進曲」(同、昭和八年二月二十日読書院)、^性「東亞の榮光—滿洲建國秘

- 史』(昭和十一年五月)二十頁ヤトリ社「新鏡大衆小説全集」、
 『明智光秀』(昭和十二年五月十八日、再刊・七月十日春秋社)、
 『劍豪物語』(昭和十二年七月十日、普及版・十五年五月十六日春秋社)、
 『續・織田信長』(一)中京布武の巻・昭和十二年十一月五日春秋社、
 『^新版關ヶ原序篇』(新訂版・昭和十四年八月)二十頁春秋社、
 『吉野朝太子記』(第一卷・昭和十四年十一月)二十頁、第二卷・十一月十日、第四卷・十五年一月)二十頁春秋社、
 『黒田如水』(昭和十五年九月)二十頁ヤカツキ)、
 『覇者交代』全二冊(上巻・昭和十五年十月)二十頁、下巻・十一月十日大日本雄辯會講談社)、
 『勤王小説名作集』(合著・大橋進一編、昭和十五年十一月)六十頁博文館「名作文庫」、
 『姫』(昭和十五年十一月)二十頁大正社)、
 『歴史小説 安土・桃山』(昭和十六年二月)二十四頁、
 『一一人質交換』四月二十四日、五一足利滅亡・七月二十一日、六一中京布武・九月二十日、七一本能寺・十一月)二十頁春秋社)、
 『北畠親房』(昭和十六年二月)二十八頁春秋社)、
 『大坂開城―鷲尾雨下傑作集』(昭和十六年四月)二十頁蒼生社)、
 『若菜家康』(昭和十六年九月十日大日本雄辯會講談社)、
 『新編太子記』(昭和十六年十月十日昭和書房)、
 『假面春秋』(昭和十六年十一月十五日長隆堂書店)、
 『大楠公』(昭和十七年一月一日大日本雄辯會講談社)、
 『續新編太子記』(昭和十七年二月十八日昭和書房)、
 『讀切 小説 鷲尾雨下傑作集』(昭和十七年五月)二十頁輝文堂書房)、
 『武家懷勳史物語』(昭和十七年七月五日昭和書房)、
 『今川中島』(昭和十七年十月五日昭和書房)、
 『國難公克』(昭和十七年十月十七日蒼生社)、
 『日本人白話』(雜司千

- 郎共著、昭和十七年十一月、千五百春生社）、『英雄時宗』（昭和十八年一月、千のフタバ書院成光館）、『遺族讀本・第二輯（楠一族）』（昭和十八年二月、自京都・京都市役所）、『北條九代記』（淺井了意原著、昭和十八年二月、千五百昭和書房）、『合戦小牧山』（昭和十八年三月、千五百、再刊・四月、千五百室戸書房）、『滿洲建國の人々』（昭和十九年四月、千五百潮文閣）、『甲越軍記』（昭和十九年六月、千五百昭和刊行會）、『姫ごころ』（昭和二十二年四月、千五百文會堂）、『辨天秘法』（昭和二十二年四月、千五百民衆之友社）、『性心理敘説』（本名、昭和二十四年二月、千八百、再刊・十月、千八百火星社）、『おもむくゝる・らくらゝ一性の心理と技巧・附性用語辭典』（同、昭和二十六年九月、千八百おもむくゝる社、再刊『おもむくゝる・らくらゝ一性の心理と技巧・性語辭典』（千九百二年五月、千五百無注書店）、『勤者交代』全一冊（上、下・昭和二十七年一月、千九百妙義出版社）、『皇國勲士平記』（第一卷、第一卷・第二卷・昭和二十二年四月、千五百、第二卷・五月、千五百、第四卷、第五卷・六月、千五百東都書房）、『勤者交代』全二冊（第一卷・昭和四十年十月、千五百、第二卷・十一月、千五百、第二卷・十一月、千五百浪速書房株式会社）等。